

# 高校生活の「今」を全力で楽しもう！！！！



## 藤蔭ニュース

2017年  
(平成29年)  
6月1日(木)

### 第3号



### ★春の遠足★

**一年** 京都水族館と京都鉄道博物館に行きました。水族館では入口すぐのオオサンショウウオやアシカの悠々と動く姿をはじめ、イルカショーなどもあり、生徒はとても盛りあげていました。外に出ると梅小路公園で昼食をとりながら散策する生徒もいました。午後からは鉄道博物館に移動し、0系新幹線の実物大の車両が我々を迎えてくれ、実際の電車を運転するシミュレーターがあったりなど興味を注がれるところが多々あるように感じました。生徒たちは至るところでカメラで楽しそうに撮影していました。行事の思い出が残せたように思います。

**二年** 奈良方面(東大寺・興福寺・元興寺・春日大社)を自分の足で歩き回り、奈良時代から残る風景や町並みなど、大阪とはまた異なった雰囲気をつぶりと感じていました。普段、教科書などで見る大仏や町並みとけ込んで鹿に、生徒たちは仲間と驚きとともに興奮を共有している姿がみられました。

**三年** 神戸方面(メリケンパーク・南京町・北野異人館方面)へ行き、神戸ベイクルーズに乗り、船から見る神戸の街並みを堪能しました。その後、ポートタワーをバックにクラスで写真を撮ったり、南京町で食べ歩き等楽しんでいました。北野異人館方面へは、坂も多く大変でしたが、異国の建築物や普段の生活とはまた違った雰囲気を感知取っているように見受けられました。日本及び世界の多様性を感じる機会となりました。

### みんなと楽しんだ遠足

一年一組 大柄 亜砂里

私は初めて京都へ行き、水族館と鉄道博物館を周りました。その中で一番印象に残ったのが、水族館でのイルカショーでした。ショーでは、大ジャンプや鳴き声など様々なパフォーマンスを披露してくれました。私自身、これまでにイルカを生で見る機会がなかったからか、まるで初めてイルカを見た子どものようにはいしゃいでしまいました。また、イルカはよく利口な生物であると聞きますが、私の想像をはるかに超える利口さに感じました。次に訪れた鉄道博物館では、たくさんの種類の鉄道を見学しました。遠い昔のものから現在も運行中のものまで、いろいろな鉄道とその時代背景に触れることができ、とても勉強になったと感じています。

今回の遠足では友だちとの親睦を深めるだけでなく、様々な体験を通じて新たに学び得たこともたくさんあり、とても有意義な時間を過ごせました。

### 1年 京都水族館と鉄道博物館にて



### 2年 東大寺にて



### 3年 南京町にて



### PTA 合同懇談会

五月二十日(土)の午後から本校にて学年ごとに分かれて保護者と教員による合同懇談会が行われました。各学年とも多数の保護者に来校していただき、一学年では学校生活における携帯電話の使用や遅刻について、二学年では修学旅行、三学年では進路活動を中心に話が進みました。全体の説明の後、各クラスに移動し、さらに担任と保護者による有意義な話し合いが続けられました。ご来校いただいた保護者、PTAの役員の皆様、誠にありがとうございました。



### 6月の行事予定

- 6月 2日(金) 英語検定
- 6月 7日(水) 生徒集会(6限)
- 6月14日(水) スマホ・携帯安全講習(6限)
- 6月16日(金) 漢字検定
- 6月19日(月) 創立記念日(休日)
- 6月21日(水) 1学年生徒会代表選挙(6限)  
3年生進路ガイダンス(6限)

### ストレス社会



### 本校4Fにある神徳堂の言葉

「ストレス社会」などという言葉を目にしだして久しく感じます。我々の周辺には不平・不満・イライラが漂っているようです。その見方を変えてくれそうな掲示物を神徳堂前で発見しました。解決策はここにあったようです。

# ～学年部長より～

新学年が始まって2カ月が過ぎました。薫風爽やかな新緑の季節から初夏の暑さを感じる時節になりました。今月は各学年部長のご挨拶をお届けします。

「好スタート」

第一学年部長 中川 大輔



無事に入学式を終えた新入生297名は、新入生研修や二・三年生との初対面となる始業式を得て新たな一歩を歩み始めました。四月、五月と大きな問題もなく、集中して授業に取り組んでいる生徒達の姿が多く見られました。これは本人たちの意識改革は勿論のこと、保護者の皆様が常日頃よりお子様に向けた様々な助言があつてのことと感謝申し上げます。

しかし、ご存じのように思春期真っただ中の子ども達は、考え方や感じ取り方が日々変化し、それが全て良い方向へ向くとは限らないのが現状であり、我々も保護者様同様、その現状を理解したうえで日々彼ら彼女たちと接し、良い方向へと導く努力を続けています。

そこで今回はすでに保護者の皆様や生徒の皆様にはお伝えしているのですが、今後共通理解のもとお子様たちの成長を見守っていければと思います、改めて第一学年が大切にしていきたいと思つている以下の三点をお伝えさせていただきます。

### ① 生徒が自ら「考え」「行動する」ことを信じる

可愛さゆえに、ついつい行き過ぎた手助けをしてしまうことで「人任せ」「人のせい」にする癖がついてしまいが、自ら考え行動することで失敗は多いかもしれませんが、それは「想定内」として事前サポートはもちろんですが事後サポートも大切にしたいと思つています。今どきの若者のほうがしっかりしていることもあります。

### ② ルールの遵守

学校は小さな社会であり、その延長線上に大人の社会がある。ルールを守ること得られる自信や、守らなかったことで降りかかる困難があることを知り成長してもらいたいと思つています。

### ③ 責任を持てる言動を心がける

「必ず有言実行」とまでは言いませんが、自分の発言や行動によってプラスになる事やマイナスになる事があるという事を常に頭に入れた発言や行動ができる人間になつてもらいたいと思つています。投げやりな言葉や態度に対してはその都度助言が必要であると考へています。当たり前であり簡単なことかもしれませんが、大人である我々も常に心がけていなければならぬことだと思つています。まずは一年間、実践できるようにご協力とご理解よろしくお願ひいたします。

最後に生徒の皆さんへ。  
ようやく生活リズムにも慣れ、自分のペースで一日が終えられるようになってきた頃だと思ひます。今後も肩の力を抜き、自然なスタイルで学校生活を過ごしてくれればよいと思ひますが、常に進歩する人であつて欲しいと願ひつています。常に成功する人ではありません。失敗も進歩の一つですので前向きに様々なことにチャレンジしてください。金光藤蔭は努力する生徒に対して最後までサポートする学校です。

「気持ちの慣れをなくして、飛躍の学年に！」

第二学年部長 久保 玲王奈



新年度が始まり二か月が経ちました。第二学年となり、高校生としての自覚も確立され、本校のルールも理解し、このまま順風満帆に学校生活を謳歌してくれることを願うばかりですが、第二学年は「中だるみの学年」とも言われています。それは学校生活の「慣れ」から起こるようで、「この程度やっていけば何とかかなる。」「あの先生ならここまでやっても叱られない。」など勝手な解釈をして、新入生の時には出来ていた努力を疎かにする傾向があります。そういう意味では、我々教員も一番注意して彼らと接しなければならぬ学年でもあります。

学校行事ではコースによって時期は異なりますが、修学旅行が予定されています。朝から晩まで彼らと接することにより、我々教員との距離感も近くなります。礼節を軽視する関係にならないよう注意しなくてはなりません。その為にも、当たり前のことですが指導にブレがない様、「良いことは褒め、悪いことは徹底して叱る」を学年のスローガンとして指導にあたらせていただく所存です。

そして、第二学年が本校のあらゆる面において中心となつて活躍し、学校行事においては指導力を発揮してくれることを期待しております。それが、今後の彼らの進路目標を定めるきっかけになると考へます。また、目標に向かって努力することにより、卒業後には希望していた進路先に落ち着くことができると思ひます。

我々教員も彼らとともに「中だるみの学年」から「飛躍の学年」となる様に頑張りますので、本年度も保護者の皆様のご理解とご協力、宜しくお願ひいたします。

「進路を左右する三年生の夏」

第三学年部長 荒木 克彦



中間考査も終わり、高校生活最後の夏が訪れようとしております。三年生の夏、それは進路決定に向けて一番重要な時です。本校では、一・二年生の頃から進路行事を行つてきましたので、進学先のオープンキャンパスに積極的に参加している生徒や、進路指導室で進学や就職の資料を閲覧している生徒など、意識の高い生徒がたくさんいます。また、少しでも評定平均値を上げ、推薦に有利になるように中間考査の勉強を頑張つていた生徒もいます。反対に、一・二年生で単位を落としたり、この六月の追認考査で単位を取らなければならぬ生徒や、欠席・遅刻が多く、進路決定どころか卒業さえ心配される生徒もいることも事実です。進学先・就職先の決定にしろ、欠席・遅刻をなくさせるにしろ、高校生と言えども、まだまだ幼いところがある生徒たちには保護者の方のご協力が必要です。どうか、高校生だから本人に任せておけば大丈夫だろう、と言わず、高校生だからこそ関わり、今、何が一番大切なのかを再確認させていただければと思ひます。

また、過日、希望生徒対象に日本学生支援機構（奨学金）の説明会が行われました。これにつきまして、生徒本人に自分が進学するためのものであると自覚を持つよう指導はしておりますが、保護者の方に書類を用意していただかなくてはならない場合も多々あります。書類の提出期限もあることですので、今一度、ご家庭でもご指導のほどよろしくお願ひいたします。

社会はさまざまに変化しています。そして、それに対応せねばならないそんな中、今の世の中を見つめ、自分が何をしたいのか、何に向いているのかをより具体的に考え、生徒自身に自分の将来を見つめてもらいたいと思ひます。

## ～編集後記～

少しずつ学校生活にも慣れ始め、部活に勉強にそれぞれ頑張っている様子が伺えます。次号では今年度より本校に着任された先生方の紹介も行いたいと考えています。暑くなっていく時期ですが、気持ちで乗り切っていきましょう!!!